

経営学部・渥美ゼミでは、理系大学と共同学生プロジェクトを実施しており、今年で4年になる。理系の参加は、公立ほこたて未来大学、函館工業高等専門学校、神奈川工科大学。

「ビジネスモデル提案のための手法」―実践的ソフトウェアの開発の手法―と学ぶ目的は「文・理」異なるが、それぞれの専門分野を生かしての共同開発だ。本年度は「クラウド時代に向けたケータイアプリプロジェクト」に取り組み、渥美ゼミからは3年次生10人で総勢31人が参加した。

発表会は12月15日、本学の生田キャンパスで協力企業の出席のもと開かれた。プロジェクトの様子を渥美教授とチームリーダーの寄稿で紹介する。

渥美ゼミ参加学生 敬称略▽佐藤まなみ▽伊藤高廣▽大澤美詠▽大竹章太▽大槻和寛▽川島みゆき▽小宮咲子▽田名網恵子▽並木絵莉子▽八尋亮

経営・渥美ゼミ



渥美ゼミ生の発表会12月15日、生田キャンパスで

クラウド時代に向けたケータイアプリプロジェクト

専門分野生かし理系大学と共同開発

経営学部教授・渥美 幸雄



異分野チーム活動は貴重な経験

共有を中心として人と

身近な存在である携帯電話のアプリケーションを理系大学の学生と一緒に開発するといふ、文理合同の学生プロジェクトをゼミ3年次生で実施しているので紹介する。

近年、産業界で役立つ人材育成の一環として、チームで一つのモノやサービスを開発するプロジェクト学習と呼ばれる教育が理系大学を中心に行われつつある。

活動は、バックグラウンドが異なる理系学生と行うことは、非常に貴重な経験となる。

文系と理系の学生は考え方や物事の進め方が異なるようであり、合同プロジェクトを通じて相互理解と視野拡大が期待できる。このような経験もするようになる。また、本プロジェクトは、通常はインターネットを介したビデオ会議や情報共有サーバを利用して作業を進め、さらに2回の合同合宿により意思疎通を図っている。

企業では情報共有サーバやビデオ会議を活用してお互いの連携ができればと考えている。

佐藤 まなみ (経営3)



渥美ゼミナールでは、4月から他校と一緒にケータイアプリ開発のプロジェクトを行っています。

この約1年という期間の中で得たことはたくさんあり、自身やゼミメンバーの成長へとつながりました。

このプロジェクトで特に大変だと感じたのは、学校ごとにプロジェクトへの意識が違つたことをはじめとして、遠距離でも議論をぶつけ合つた。

企業の方から直接、指導をいただけること、私はこのプロジェクトを通じて知識や技術的な成長ができました。

それによって、皆で一つのことを成し遂げる楽しさを知ることができました。

遠距離でも議論をぶつけ合つた

企業の方から直接、指導をいただける

です。プロジェクトを始める上です、取り組める時間やメンバーの目的意識が違つたことを互いに理解する必要があります。

各校合わせて31人います。全員が顔を合わせて議論する機会は、5月と11月に行われる合同合宿のみ

にズレのないよう慎重に行われ、また、なにか課題があるたびに担当を各課に置き、その担当が各

の意見をまとめ、代表として担当者同士が話し合いました。これによって短い時間で各校の意見を組み

合せて、皆で一つのことを成し遂げる楽しさを知ることができました。

実社会での実践力を養う

キャリアデザインセンター

キャリアデザインセンター(センター長 小林隆) ネットワーク情報学部教授(では、学生が将来のキャリアを考える上でヒントを得られるよう、実践的な企画を実施している。その一環として、

専大ベンチャービジネスコンテスト

電子教科書の効果的活用法― 鳳賞に杉井さんらのグループ

生田キャンパスで開催された。応募総数45点のうち、第9回専大ベンチャービジネスコンテストのプレゼンテーション大会が11月20日、



▲ 杉井さんらのプレゼンテーション

杉井里沙さん(代表・ネット情報3)の「学生も大学も驚かすスマート教科書」が鳳賞(最優秀賞)を受賞した。杉井さんは「前回も教科書をテーマとした企画で参加しましたが、佳作で悔しい思いをしました。今回は『プロジェクト演習』としてメンバー11人とともに作り上げてき

ファンドマネージャー専大グランプリ

株式投資ゲームに参加し、企業の業務・業績を判断する力をつける2010年度の架空投資期間が11月5日で終了し、12月10日、生田キャンパスで表彰式が行われた。

個人戦は有田さん(経済) 2連覇 団体戦は「ハーレムズ」(情報) 優勝

有田さんは「過去2年間の経験をもとに今年も優勝することができました。売買結果を分析すると、利益が出ている株式が全体の3割しかなく、株式取引の難しさを改めて知りました。いま就活中ですが、銀行や証券会社など金融機関を希望しています。」

個人戦優勝の有田さん(左) ▲ 渡部寛至さん(商3)